

人工潟湖干潟が水質変化に及ぼす影響

秦野 拓見¹⁾, 村上 和男¹⁾, 中瀬 浩太²⁾, 金山 進³⁾, 葉山 政治⁴⁾

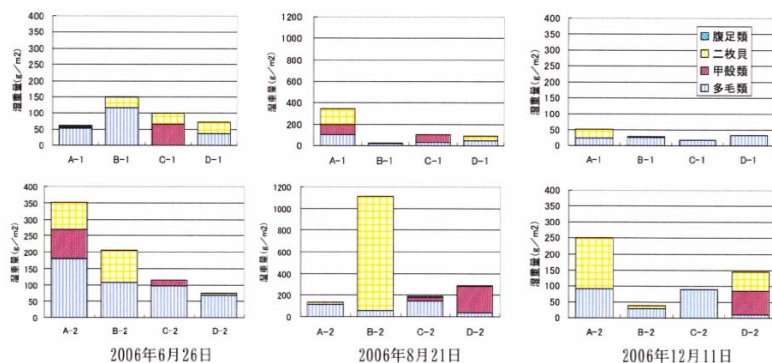
Influence of the Artificial Lagoon Tidal Flat on Water Quality

Takumi Hatano¹⁾, Kazuo Murakami¹⁾, Kota Nakase²⁾, Susumu Kanayama³⁾ and Seiji Hayama⁴⁾

■ 要 旨 ■

干潟は海の環境にとって重要な場所である。近年、過去の開発行為によって失われた自然環境を再生する目的の人工干潟造成が増加している。著者らは東京港野鳥公園の人工潟湖干潟の環境の環境的特徴について調査し、これを東京湾の他地点の干潟の環境特性と比較した。次にこの干潟と東京湾を繋ぐ水路における水質を、2潮間にわたり1～2時間おきに計測した。

調査結果より、この干潟の土壌は強熱減量が大きく、干潟のベントスの優占種は多毛類であることが明らかになった。さらに、干潟と東京湾を結ぶ水路を通過する水中のNH₄-NとPO₄-Pのフラックスは、干潟から東京湾方向への流出傾向であることが明らかになった。しかしながら、この人工干潟における基礎生産量は東京湾の他の人工干潟に比較して低いものであった。



1) 武蔵工業大学
2) 本社 環境事業部
3) 技術研究所
4) (財)日本野鳥の会